

初めて入園たし幼児に平易で適切を一

# 大正六年第一考案

# 花とり競争

定價金二圓五十錢

## 遊方

松竹梅、櫻、菊、楓の形を(板にて)八寸の大きに切抜き、特有の色を以て彩色したるものを遊嬉室に配つて置いて一方で先生が大な、獨樂六角に削つて右の六を廻し止た時に現れた櫻が(櫻)處へ速かに行た方が一番といふのであります、その間幼児は、互に梅とか櫻とか、好むところを唱へつゝ、待て居るのであります、

## 教育的價值

沈着と敏捷、獨樂の止る瞬間には最も沈着にして正しく出たものを視分なくてはなりません

視分が付たなれば、最も敏捷に目的の處へ間違ぬ様に行かなくてはなりません

此處で視覺の練習にもなり同時に植物の名稱を覺る事が出來ます

東京九段

電話番町二九〇九  
振替東京一九六四〇

フレイベル館

最も嗜好多き運動器具